

**別添資料 「人づくり」および「自然環境保全」の取組の現状について**

**1 「人づくり」の現状について**

**「人づくり」に関連した区の主な取組一覧**

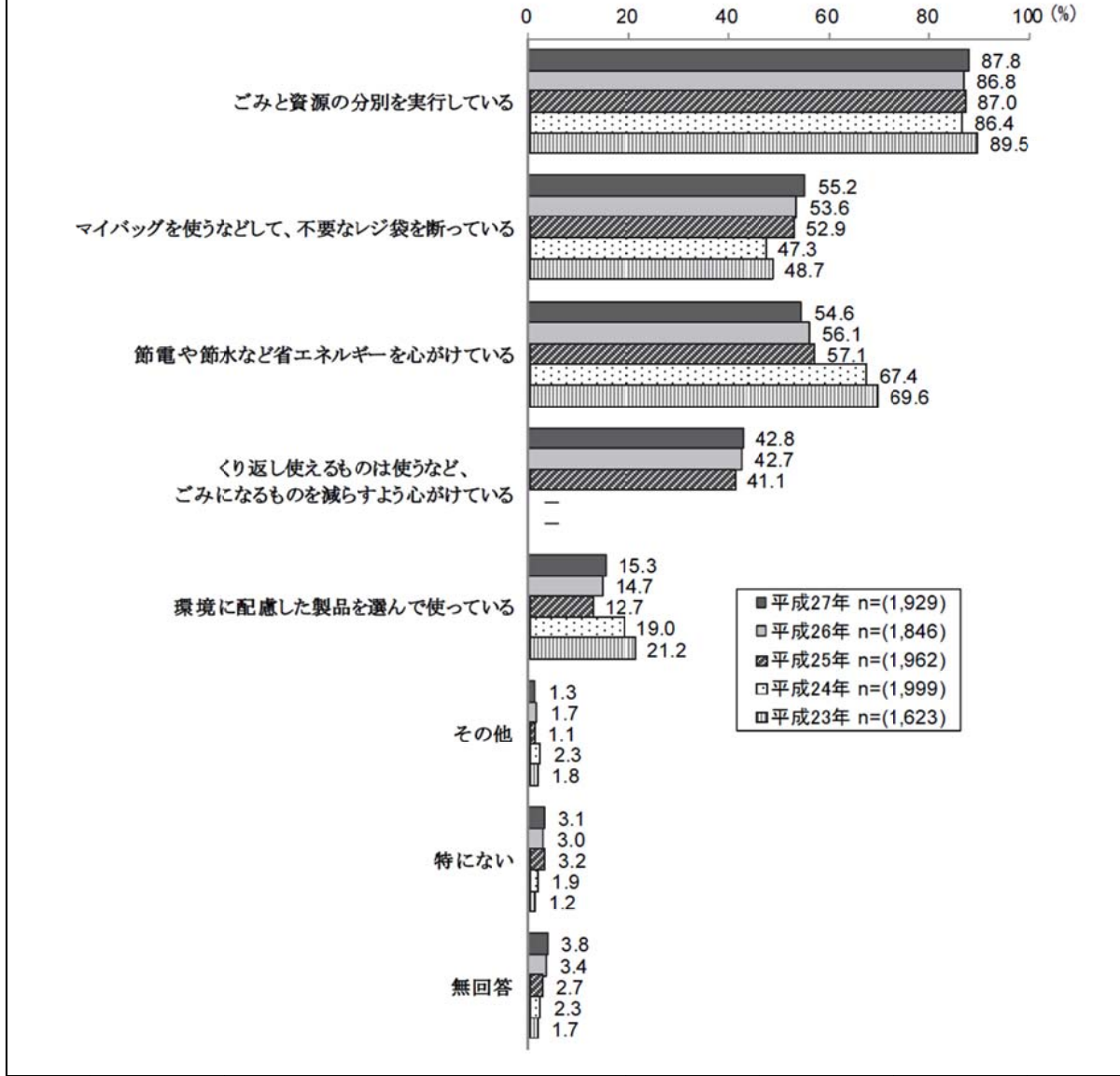
施策群として検討する項目	足立区の取組み、データ等	取組み区分
(1) 環境情報の発信や環境行動の啓発	あだち未来図若年層（20代・30代）区民意識調査	意識調査
	地域のちからの向上に向けた区民の意識調査及び関係団体等に関する調査報告書	意識調査
	第44回足立区政に関する世論調査	意識調査
	環境にやさしい暮らしのヒント集	啓発ツール
	省エネノート（あだち区民環境家計簿）	参加型プログラム
	地球環境フェア	イベント
(2) 環境教育、環境学習の推進と人材育成	あだち環境ゼミナール	学習プログラム
	キッズISOプログラム	学習プログラム
	環境スタートブックの配布（小学校4年生）	学習ツール
	夏休み子どもエコプロジェクト（小学校5年生）	見学・体験
	自然教室（小学校5、6年生、中学1年生）	見学・体験
	出前環境講演会	学習プログラム
	「地球にやさしいひとのまちポスターコンクール」	学習プログラム
	あだち環境かるた	学習ツール
	拠点施設における体験プログラム（桑折ビオトープ公園、都市農業公園、生物園など）	見学・体験
	区民農園の貸し出し	見学・体験
	友好自治体における米作り体験	見学・体験
	友好自治体における環境ツアーへの参加支援	見学・体験
(3) 人材活用場の提供と仕組みづくり	あだち環境マイスターの会	
(4) 環境活動を広げるネットワークの構築	エコ活動ネットワーク足立 EANA（いーな）	ネットワーク

(1)環境情報の発信や環境行動の啓発

名称	概要
<p>あだち未来図若年層（20代・30代）区民意識調査</p> <p>平成22年3月</p>	<p><b>Q2-5 地球温暖化に対して不安を感じているか。</b></p> <p>1. 大いに感じている 29.1% 2. 多少は感じている 50.1% 3. あまり感じていない 15.5% 4. 全く感じていない 5.3%</p> <p><b>Q2-6 一人ひとりの地球温暖化配慮行動は効果があるか。</b></p> <p>1. 大いに効果がある 49.0% 2. 多少は効果がある 41.2% 3. あまり効果がない 7.5% 4. 全く効果がない 2.4%</p> <p><b>Q2-7 地球温暖化配慮行動を行っているか。</b></p> <p>1. 自分ができることは、なるべくすすんで行動している 39.6% 2. 時々行動をすることがある 40.3% 3. 必要だと思うが、自分ではあまり行動できていない 16.5% 4. 地球温暖化への配慮は考えたことがない 3.5%</p> <p><b>Q2-11 足立区が「公園や緑が多い」とされている理由</b></p> <p>1. 河川敷の緑が豊か 30.8% 2. 街路樹が多い 4.5% 3. 身近な場所に公園が多い 38.7% 4. 大規模な公園がある 15.6% 5. 自然の緑が残されている 2.7% 6. 農地の緑がある 2.7%</p> <p><b>Q2-13 足立区のブランドやシンボルとしてPRすべきものは何か。</b></p> <p>公園、緑、川の多さ（荒川、舎人公園） 143件 eco や温暖化対策などの環境対策への取り組み 20件</p> <p><b>Q3-1 区の取り組みの重要度・満足度</b></p> <p>自然・緑化対策 重要度 14.2% 満足度 42.6% 資源環境対策 重要度 10.0% 満足度 8.1%</p> <p><b>Q3-5 5年間に参加したことのあるイベント</b></p> <p>「地球環境フェア」「環境サミットin足立」 1.5%</p>
<p>地域のちからの向上に向けた区民の意識調査及び関係団体等に関する調査報告書</p> <p>平成24年6月</p>	<p><b>問5 あなたがお住まいの地域で特に大切と思う地域活動は何ですか。（〇は最大5つまで）</b></p> <p>公園や道路の清掃・美化活動など 29.9% 資源物の集団回収など 20.6%</p> <p><b>問8 あなたが協力または参加したいと思う地域活動は何ですか。（〇はあてはまるものすべて）</b></p> <p>公園や道路の清掃・美化活動など 21.6% 資源物の集団回収など 9.8%</p> <p><b>問16 現在、貴町会・自治会の地域で困っていることまたは課題となっていることはありますか。（〇はあてはまるものすべて）</b></p> <p>環境（ごみ・リサイクルなどに関すること） 42.1% 公園管理・緑化活動に関すること 16.1%</p>

	<p><b>問 23 貴町会・自治会の実施している事業の実施状況、負担を感じる事業、引き続き、また今後力を入れる必要がある事業についてお答えください。(○はあてはまるものすべて)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域清掃〈実施している 61.2% 負担に感じる 10.6% 引き続き、また今後力を入れる必要がある 29.4%〉</li> <li>・リサイクル・廃品回収〈実施している 64.8% 負担に感じる 7.9% 引き続き、また今後力を入れる必要がある 35.5%〉</li> <li>・ごみ集積所管理〈実施している 60.3% 負担に感じる 11.5% 引き続き、また今後力を入れる必要がある 30.9%〉</li> <li>・公園管理・緑化活動〈実施している 41.2% 負担に感じる 8.8% 引き続き、また今後力を入れる必要がある 23.3%〉</li> </ul>
<p>第 44 回足立区政に関する世論調査 平成 27 年 9 月</p>	<p><b>問 28 あなたが環境のために心がけていることは何ですか。(○はあてはまるものすべて)</b></p> <p>ごみと資源の分別を実行している 87.8% マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている 55.2% 節電や節水など省エネルギーを心がけている 54.6% くり返し使えるものは使うなど、ごみになるものを減らすよう心がけている 42.8%、 環境に配慮した製品を選んで使っている 15.3%</p> <p><b>問 29 あなたがこの 1 年間に参加された活動と、引き続き、または今後あなたが参加したいと思う活動はどれですか。(○はいずれも、あてはまるものすべて)</b></p> <p>自宅や店舗の庭や玄関先、ベランダ、公共の場等での草花や木、緑のカーテンの育成 13.6%、 まちの美化活動（ごみ拾い、門掃き、公園の清掃など） 8.6%</p>

図 7-1-1 経年比較／環境のために心がけていること



出典) 第 44 回足立区政に関する世論調査

名称	概要
環境にやさしい暮らしのヒント集	区のホームページにおいて、日常の暮らしの中でできる環境保全の取組をイラスト付きで紹介。
省エネノート (あだち区民環境家計簿)	家族の電気・ガス・水道・灯油の使用量を月ごとに記録・報告してもらい、それらの CO2 排出量を計算するもの。参加者は、3 か月分の報告ごとにポイントが与えられ、エコグッズと交換できる。 平成 28 年 3 月 1 日現在、4,739 世帯が登録している。

地球環境フェア	区が主催するイベント。毎年5月に開催。講座、体験、展示、アトラクション、企業出展などがある。 平成27年度は来場者数22,000人。
---------	---

(2)環境教育、環境学習の推進と人材育成

名称	概要
あだち環境ゼミナール	高校生以上を対象に、環境に関する様々なテーマについて、専門家や研究者から学び、参加者皆で話し合う環境学習講座。修了者は、「あだち環境マイスター」に認定される。 平成26年度は23人、平成27年度は11人を「あだち環境マイスター」に認定された。
環境スタートブックの配布 (小学4年生)	環境に関する基礎知識や日常生活で取り組める活動等をわかりやすく紹介。区内の全学校で小学校4年生を対象に配布。
夏休み子どもエコプロジェクト (小学5年生)	小学校5年生を対象に、夏休みの宿題として、身近な節電の工夫を考え、家族と協力しながら実践し、節電効果を検証するもの。 平成27年度は区内全小学校69校から提出があり、提出児童数は4,342人。提出率は85%となっている。身近な節電の工夫を考え、家族と協力しながら実践し、節電効果を検証するという内容の夏休みの課題を実施。
キッズISOプログラム (小学6年生)	子どもの環境意識を高め、PDCAサイクルによる環境マネジメントを体得させて、問題解決能力を身につけることを目的とした環境教育プログラムで、毎年区内小学校を通じて6年生にこの参加を呼びかけ、小学生が家族と一緒に環境改善についてできることを考えて目標を決め、4週間にわたり、目標の達成状況をチェックしながら継続して省エネ、省資源生活を実行している。 平成27年度は、15小学校の381人が実践し、171人が国際認定を受け、4人が特別賞を受賞した。
自然教室	小学校5、6年生、中学1年生を対象に、学校行事として自然教室を実施。
出前環境講演会	学校の要請に応じて、出前講座を実施する。
地球にやさしいひとのまちポスターコンクール	小中学生を対象にした環境問題やまちの美化に関するポスターコンクール。平成27年度は小中学校合わせて919件の応募があった。
あだち環境かるた	環境問題をテーマにしたかるたを作成。毎年環境かるた大会を開催。平成27年度は小学校64校から815人が参加。かるたは、800円で販売するとと

	もにホームページ上でも環境教育ツールとして提供している。
拠点施設における体験プログラム	桑折ビオトープ公園、都市農業公園、生物園などにおいて、施設管理者による各種体験プログラム等を展開。
区民農園の貸し出し	農地を有料で貸し出し、余暇の活用、家庭菜園を通じた健康増進、農作物の栽培と収穫を楽しむこと、食料・農業に対する理解を深めることが目的となっている。
友好自治体における米作り体験	親子向けの米づくり体験ツアー（田植え、稲刈り、収穫祭）と、植林で環境を考える旅の4つに延べ136人が参加した。いずれも友好自治体の栃木県鹿沼市および地域の農業、林業者との協働により開催した。
友好自治体における環境ツアーへの参加支援	友好自治体（栃木県鹿沼市、新潟県魚沼市、長野県山ノ内町）の区域内環境学習や環境貢献活動を行う旅行を区が認定し、参加した区民に補助する補助制度。平成27年度は旅行会社等が主催する7つ企画を認定し、ホームページやSNSなどでPRしたが、区民の参加はなかった。

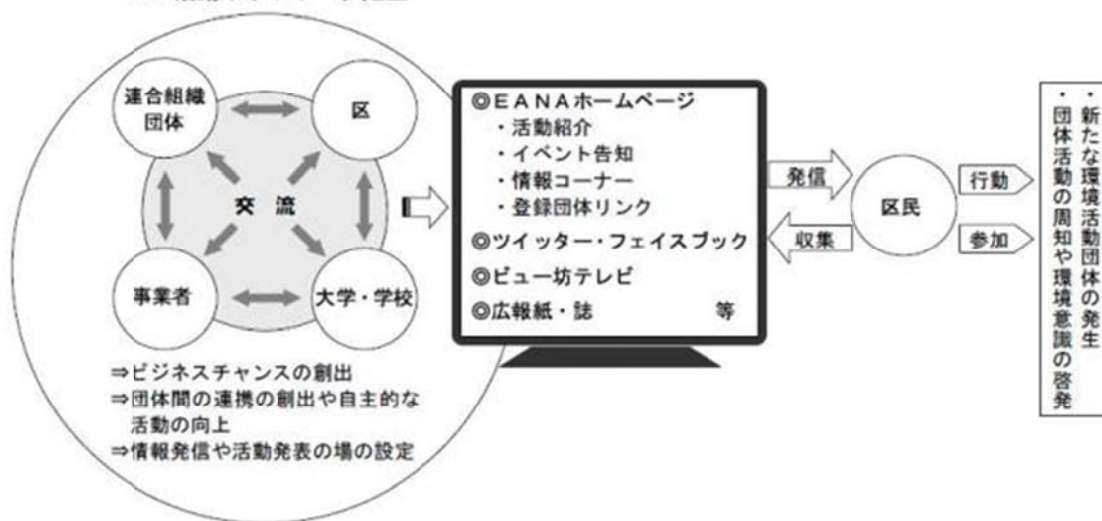
### (3) 人材活用場の提供と仕組みづくり

名称	概要
あだち環境マイスターの会	あだちゼミナールを修了しあだち環境マイスターに認定された有志で、会が組織されているが、活動の場づくりが求められている。

### (4) 環境活動を広げるネットワークの構築

名称	概要
エコ活動ネットワーク足立EANA（いーな）	区内で環境活動・環境に係る活動を行う団体・事業者を対象とした登録制のネットワークで、登録団体の情報を発信・提供し、足立区の環境活動の推進を目指す。現在、事業者、NPO、町会・自治会など75団体が参加している。

### エコ活動ネットワーク足立



## 2 「自然環境保全」の現状について

### 「自然環境保全」に関連した区の主な取組一覧

施策群として検討する項目	足立区の取組み	取組み区分
(1) 多様な生き物がくらす自然環境の整備	花壇の自主管理	区民参加
	公園の自主管理	区民参加
	みどりのサポーター/みどりのねっと	区民参加
	緑の協力員	区民参加
	足立区生物園	拠点整備・運営
	足立区桑袋ビオトープ公園	拠点整備・運営
	保存樹木・樹林制度の運用	緑地保全
	足立区緑の推進計画に基づく緑化の推進・維持管理	行政計画
	堀川の水質改善の取組み	水質保全
(2) 生物や自然とふれあう機会の提供	足立区自然観察リーダー	人材育成
	拠点施設における自然観察会等の開催	見学・体験
	桁川・荒川における自然観察会の開催	見学・体験
	自然教室（小学校5、6年生、中学1年生）【再掲】	見学・体験
	拠点施設における体験プログラム（桑折ビオトープ公園、都市農業公園、生物園など）【再掲】	見学・体験
	区民農園の貸し出し【再掲】	見学・体験
	友好自治体における米作り体験【再掲】	見学・体験
	友好自治体における環境ツアーへの参加支援【再掲】	見学・体験
(3) 生物多様性	みどりの実態調査	調査

の普及啓発	平成 26 年度魚類調査	調査
	平成 26 年度野鳥モニターによる足立区野鳥調	調査
	街路樹 樹種別本数の把握	調査
	ガイドマップ、図鑑等の発行	啓発ツール
	あだち自然ガイド投稿編	調査・啓発ツール

(1) 多様な生き物がくらす自然環境の整備

名称	概要
花壇の自主管理	地域団体が公園内に花壇をつくり、草花・苗などの植付け・育成を行う事業。地域のコミュニティを醸成することを目的としている。
公園の自主管理	清掃や草刈などの公園の日常的な維持管理を、区との協定により町会・自治会、事業者等の地域団体が行う制度で、住民意識の向上と地域コミュニティの活性化を図り、安全・安心・快適な公園を提供し、良好なまちづくりに貢献することを目的としている。区からは規定に基づいて謝礼金が支払われる。
みどりのサポーター/みどりのねっと	花や緑に関わる活動に関心のある中学生以上を、「緑のサポーター」として登録する制度で、積極的に緑化活動に取り組み、みどりに関する情報発信ができる区民を募集している。 「みどりのねっと」（緑のサポーターネットワーク）は、「緑のサポーター」の交流の場として立ち上げたウェブサイトで、サポーター同士が、緑化活動、区内で見かけた素敵なみどり、園芸や自家製野菜活用の悩みなどについて情報発信・交換することができるようになっている。
緑の協力員	足立区緑の保護育成条例の緑の協力員を置くことが規定されている。緑の協力員は、区の緑化施策に協力するとともに、自ら緑化推進運動を進めることとされており、緑化に深い関心を持つ区内在住のうちから区長が委嘱する。定数は 25 人以内。
足立区生物園	一般の公開に加え、生き物観察・ふれあい等の団体向けプログラム、また、チョウの飼育体験やセミの孵化観察会等の小学校向け出張授業を実施している。
足立区桑袋ビオトープ公園	園内全体をビオトープとして管理している公園で、自然や生き物、綾瀬川について学ぶことのできる「あやせ川清流館」が併設されている。季節に合わせた自然体験イベントの開催、地域住民によるボランティアプログ



	ラム、自然情報に関する月刊チラシの発行等、豊富な学習・体験コンテンツを提供している。団体向けプログラムや出張授業等も実施しており、どんぐりクラフト、おちばでアート、バードウォッチング等、小学生向けの多彩な環境教育メニューを提供している。
保存樹木・樹林制度の運用	良好な緑を形成している樹木を所有者（管理者）からの申し出を区が調査し、保存樹木・樹林として指定している。 保存樹木・樹林を所有（管理）されている方に補助金を支払う。
「足立区緑の推進計画」に基づく緑化の推進・維持管理	「足立区緑の基本計画」では、緑地の保全・緑化の推進を図る 72 の施策事項について、各年度における取組みの進捗状況をまとめている。公園率や樹木被覆率等、緑化面積の確保状況を報告している。
圀川の水質改善の取組み	圀川の水質が悪化したため、綾瀬川からの水の引き入れや、川底の浚渫、浄化施設の設置などにより水質改善に取り組んでいる。

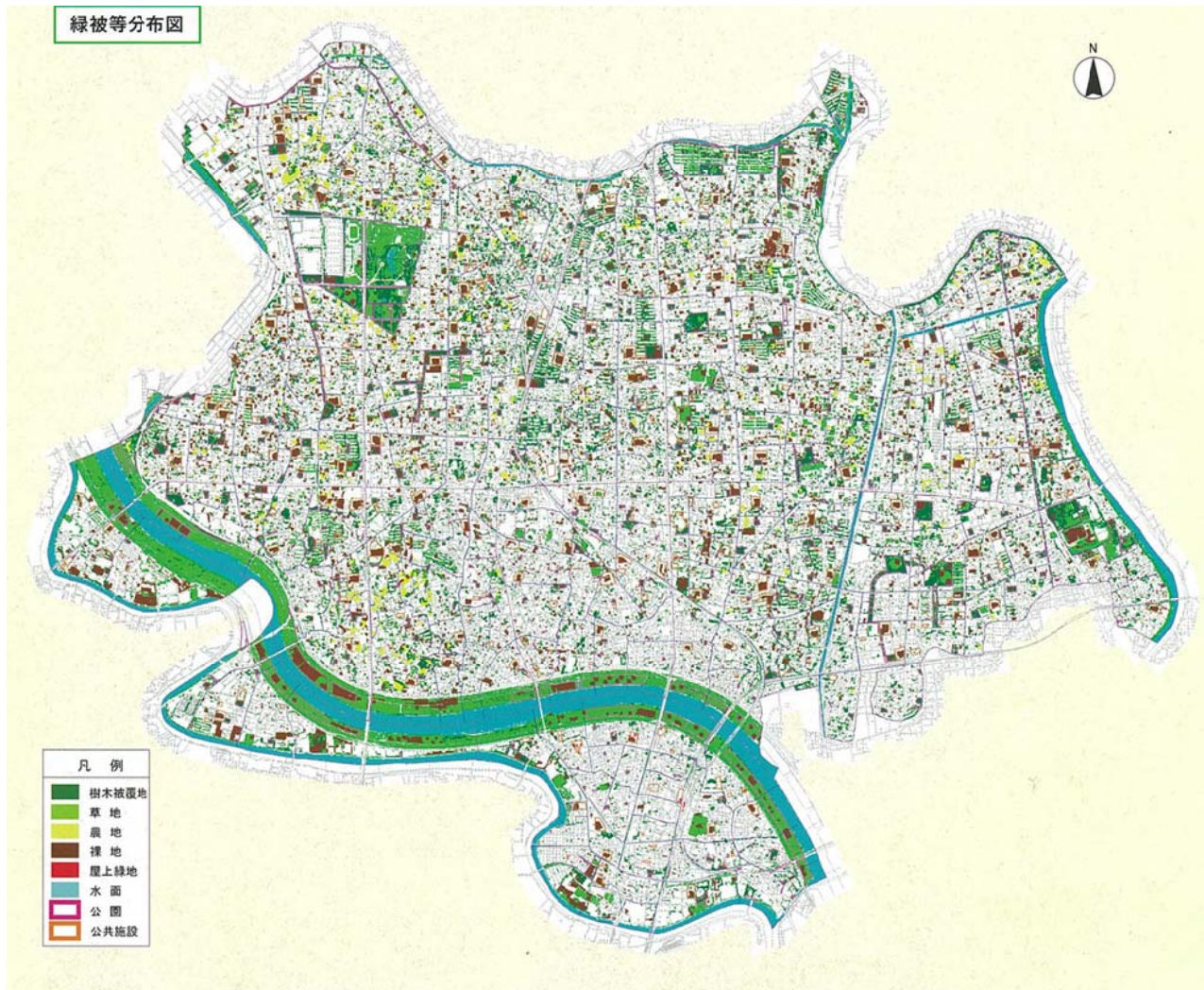
## (2) 生物や自然とふれあう機会の提供

名称	概要
足立区自然観察リーダー	身近な自然とのつきあい方・楽しみ方などを伝え、自然観察の指導を行うことができる人材であり、これまで人材の養成、登録、及び、フォローアップ講座を実施してきたが、平成 29 年度以降は見直しを予定している。
圀川・荒川における自然観察会の開催	浄化に対する意識向上や、自然とのふれあいを通じて川の魅力を再発見することを目的に、荒川及び圀川で自然観察会等を継続的に実施。
自然教室【再掲】	小学校 5、6 年生、中学 1 年生を対象に、学校行事として自然教室を実施。
拠点施設における体験プログラム【再掲】	桑折ビオトープ公園、都市農業公園、生物園などにおいて、施設管理者による各種体験プログラム等を展開。
区民農園の貸し出し【再掲】	農地を有料で貸し出し、余暇の活用、家庭菜園を通じた健康増進、農作物の栽培と収穫を楽しむこと、食料・農業に対する理解を深めることが目的となっている。
友好自治体における米作り体験【再掲】	親子向けの米づくり体験ツアー（田植え、稲刈り、収穫祭）と、植林で環境を考える旅の 4 つに延べ 136 人が参加した。いずれも友好自治体の栃木県鹿沼市および地域の農業、林業者との協働により開催した。

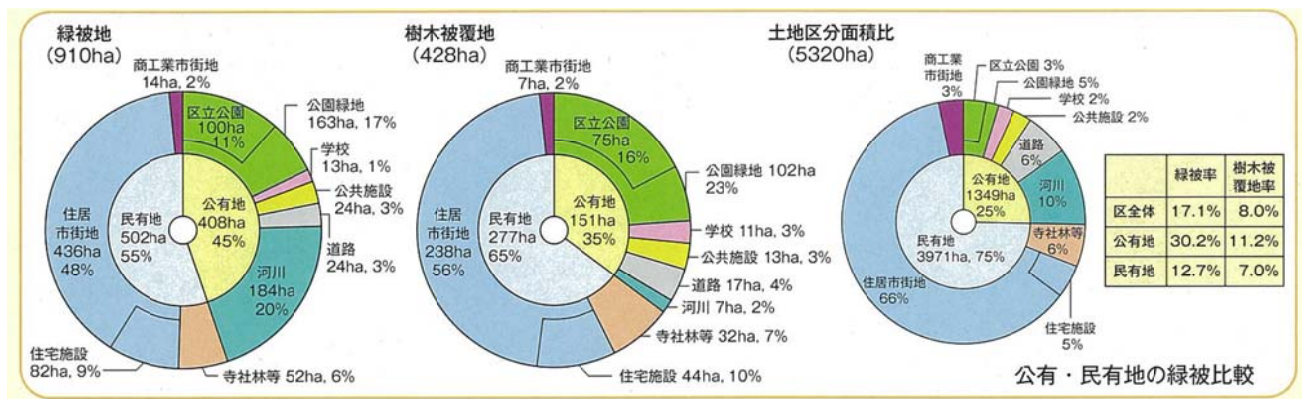
友好自治体における環境ツアーへの参加支援 <b>【再掲】</b>	友好自治体（栃木県鹿沼市、新潟県魚沼市、長野県山ノ内町）の区域内環境学習や環境貢献活動を行う旅行を区が認定し、参加した区民に補助する補助制度。平成27年度は旅行会社等が主催する7つ企画を認定し、ホームページやSNSなどでPRしたが、区民の参加はなかった。
-------------------------------------	---

### (3) 生物多様性の普及啓発

名称	概要
みどりの実態調査	平成21年度に足立区の緑の実態調査を実施。前回と比べた緑被率の状況、土地区分や地域別の緑被面積の大きさ等について、概要をまとめている。
平成26年度魚類調査	荒川、綾瀬川、毛長川、圀川の4河川に生息する魚類等を調査し、種数及び経年変化、重要種や外来種、注目種等の傾向について調査結果をまとめている。
平成26年度野鳥モニターによる足立区野鳥調	野鳥モニターによる区内40地域における野鳥の生息調査結果をまとめたもので、種数及びその経年変化、営巣や給餌などの特別な行動について記録している。
街路樹 樹種別本数の把握	いちよう、まてばしい、はなみずき、やまもも、とうかえで、さくら類、プラタナス類、ゆりのき、くすのき、その他の街路樹の本数を昭和50年度から平成27年度までのデータとして集計している。
ガイドマップ、図鑑等の発行	各種のガイドマップや生物図鑑などを発行し、冊子の配布やHP上での閲覧・ダウンロード配布などを行っている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 足立区の野草ポケットガイド</li> <li>● あだち自然ガイド</li> <li>● あだちの川の魚たち</li> <li>● あだちの野鳥</li> <li>● 圀川流域マップ</li> <li>● 公園おでかけマップ</li> </ul>
あだち自然ガイド投稿編	区ホームページ上で「あだち自然ガイド 投稿編」として生きものの目撃情報を募集し、寄せられた情報を紹介するもので、区ホームページ等で公開している。



＜区内の緑被等分布図＞



＜区内の緑地構成比＞

出典) 足立区のみどり



出典) あだち自然ガイド

<区内の主な緑地>



出典) 圀川流域マップ

<圀川の生きものマップ>

<区内の河川における魚類等の生息状況>

河川別調査結果

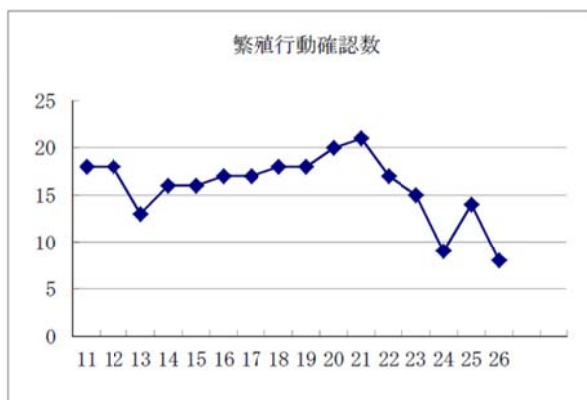
<p><b>【毛長川】</b>ふれあい橋上流付近 9月9日/10日 晴れ/曇り</p>  <p><b>【調査地点概況】</b> 両岸とも護岸されており、植生に覆われている。本調査地点のうち、最も上流に位置する。</p> <p><b>【確認種】</b> コイ、ギンブナ、オイカワ、<b>ニゴイ</b>、スゴモロコ属、カダヤシ、スズキ、ボラ、マハゼ、トウヨシノボリ(型不明)、<b>ヌマチチブ</b>、ウキゴリ、カムルチー</p>    <p>オイカワ                      ウキゴリ                      スゴモロコ属</p>	<p><b>【綾瀬川】</b>桑袋ビオトープ公園付近 7月1日/2日 晴れ/晴れ 10月9日/10日 曇り/晴れ</p>  <p><b>【調査地点状況】</b> 両岸とも、垂直護岸によって形成され、水深は単調で、浅場はみられない。</p> <p><b>【確認種】</b> コイ、<b>タイリクバラタナゴ</b>、<b>ニゴイ</b>、<b>カダヤシ</b>、スズキ、ボラ、マハゼ、<b>アシシロハゼ</b>、<b>ヌマチチブ</b></p>    <p>タイリクバラタナゴ                      カワゴカイ属                      ユリミズ属</p>	
<p><b>【荒川】</b>新田三丁目地先 9月9日10日 晴れ/曇り</p>  <p><b>【調査地点概況】</b> 抽水植物、ワンド、流入水が存在し、干潮時に干潟が形成される。</p> <p><b>【確認種】</b> コノシロ、<b>タイリクバラタナゴ</b>、ハス、マルタ、<b>ニゴイ</b>、メダカ南日本集団、スズキ、コトヒキ、シマイサキ、ボラ、マハゼ、<b>アシシロハゼ</b>、<b>アベハゼ</b>、<b>ヌマチチブ</b>、ヒライギ</p>   <p>コノシロ                      シマイサキ</p>	 <p>赤色・・・重要種    青色・・・国外外来種    緑色・・・国内外来種</p>	<p><b>【堀川】</b>葛西用水合流地点 9月9日10日 晴れ/曇り</p>  <p><b>【調査地点概況】</b> 両岸とも護岸されており、抽水植物はみられない。河床材料は砂泥によって構成されている。</p> <p><b>【確認種】</b> ギンブナ、<b>タイリクバラタナゴ</b>、マルタ、モツゴ、タモロコ、スゴモロコ属、<b>カダヤシ</b>、<b>ブルーギル</b>、<b>オオクチバス</b>、ボラ、トウヨシノボリ(型不明)、<b>ヌマチチブ</b></p>   <p>オオクチバス                      ブルーギル</p>
<p><b>【荒川】</b>千住新橋緑地 9月8日9日 曇り/晴れ</p>  <p><b>【調査地点概況】</b> 河岸に人工ワンドが整備されており、干潮時には泥干潟が形成される。抽水植物もみられる。</p> <p><b>【確認種】</b> <b>ニホンウナギ</b>、マルタ、モツゴ、<b>ニゴイ</b>、<b>カダヤシ</b>、スズキ、ボラ、コトヒキ、マハゼ、<b>アシシロハゼ</b>、<b>アベハゼ</b>、<b>ピリンゴ</b>、ヒライギ</p>   <p>マハゼ                      ピリンゴ</p>	<p><b>【綾瀬川】</b>内匠橋上流付近 7月1日/2日 晴れ/晴れ 10月9日/10日 曇り/晴れ</p>  <p><b>【調査地点概況】</b> 両岸とも垂直護岸によって形成されており、抽水植物はみられない。干潮時は浅場がみられる。</p> <p><b>【確認種】</b> コイ、ギンブナ、<b>ニゴイ</b>、スズキ、ボラ、マハゼ、<b>アシシロハゼ</b>、<b>ヌマチチブ</b></p>   <p>メダカ南日本集団                      カワヒバリガイ</p>	

出典) 平成26年度 河川魚類等調査

### ＜区内における野鳥の繁殖状況＞

《区内で繁殖行動が確認された野鳥（年度別）》

No.	種名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1	カイツブリ	○										○					
2	ササゴイ							○	○	○		○					
3	ゴイサギ		○	○	○	○		○		○	○	○	○	●			
4	コサギ				○			○				○	○				
5	アオサギ				○												
6	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	チョウゲンボウ	○	○				○		○		○						
8	バン	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
9	コチドリ		○				○			○			○	○			
10	イソシギ			○								○					
11	コアシサシ						○		○							○	
12	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	ヒメアマツバメ								○	○							
14	カワセミ		○										○				
15	コゲラ					○					○			●			
16	ヒバリ	○						○			○		○			○	
17	ツバメ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	イワツバメ	○	○					○	○	○	○	○	○				
19	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○				○	
20	ヒヨドリ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
21	モズ	○															
22	ウグイス					○											
23	オオヨシキリ	○		○		○	○		○	○	○	○				○	
24	セッカ		○	○													
25	シジュウカラ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
26	メジロ										○	○					
27	カワラヒワ	○	○		○		○	○			○	○		●			
28	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	オナガ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	ハシボソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
32	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	



※「繁殖行動の確認」とは、繁殖に伴う行動や状況等により、野鳥モニターが区内で繁殖行動をしたと判断したもの  
 ※調査日に確認された種のみを計上しているため、実際に繁殖をしている種はもっと多いと予想される  
 ※種名の網掛けは、平成26年度に繁殖行動が確認された種  
 ※●＝幼鳥のみ  
 ※H13年～15年に計上されていたコムクドリは、H26年報告書から削除

出典) 平成26年度 野鳥モニターによる足立区野鳥調査